

1993年に発生した北海道南西沖地震以降の国内、国外の災害現場において救援・復旧・復興活動を行う。

NP0 法人国際ボランティア学生協会理事
せたがや防災 NP0 アクション代表

特定非営利活動法人 国際ボランティア学生協会 (IVUSA)

1993年に生まれた大学生中心のNP0。国際協力、環境保護、地域活性化、災害救援、子どもの教育支援の5分野で「熱意は人を動かし、社会を動かす」をモットーに活動している。現在、3,600人の大学生が所属する日本最大級の学生団体。普段は大学単位で活動している。会員による選挙で選ばれた学生代表・クラブマネージャー・学生役員を中心に運営している。それを10人の専従スタッフがバックアップ。

会員に対し、社会理解・応急救命・マネジメント等の研修を実施している。

2019年台風19号|世田谷での活動

せたがや災害ボランティアセンターと連携し、発災後最初の土曜日・日曜日に大学生100名規模で被災地域内のローラーヒアリング活動を行った。

被災地域住民に災害ボランティアセンターの周知と、被災家屋の応急処置を行わないと、床下など“見えないうところ”の被害が悪化することなどを説明し、ボランティアニーズの回収を行った。

また、IVUSAのメンバーは、ボランティアセンターに集められたニーズのうち、大人数が必要なもの、技術介入が必要なものなどを中心にボランティア活動を受け持った。

活動終了後、依頼カード、活動終了報告書など災害ボランティアセンター書式にて、活動結果や引継ぎ事項など報告業務を行った。

世田谷での活動の様子 ローラーヒアリング活動



活動の様子



技術支援作業の様子





うえやま だいすけ
上山 大助氏

チームエースの代表として、各被災地で専門職スキルを活かして活動をしている。
仕事は看板屋。現場第一主義。

チームエース活動紹介

2011年の3.11東日本大震災後できた個人の集まりから始まったボランティア団体。東京周辺の社会人メンバーが、週末に各被災地での支援活動を行ってきた。

2011年～ 東日本大震災(石巻,東松島,南三陸)

2015年 関東・東北豪雨(常総市,大崎市)

2016年 熊本地震(西原村,益城町,御船町)

2018年 西日本豪雨(岡山県真備町)

2019年 台風15号(千葉県房総半島南部)

2019年 台風19号(世田谷区、房総半島南部)

2020年 7月豪雨(熊本県人吉,坂本町,芦北町)

2019年台風19号|世田谷での活動

発災後から現地確認を行い、せたがや災害ボランティアセンターと連携して、技術支援が必要な現場をサポート。

次のような活動を行った。

- ・活動前の養生、
- ・壁剥がし(裏板で浸水高さ確認)
- ・点検口からの床下清掃
- ・生活導線が汚れそうなときは追加養生
- ・床下乾燥
- ・専門工具使用により床の一部解体(床下確認のため)
- ・水分計による木材の水分測定(含水率)など



養生の様子

世田谷での床下作業 1



世田谷での床下作業 2



世田谷での養生作業の様子



しみず たかあき
清水 孝彰氏

せたがや災害ボランティアセンターのコーディネーター
西日本豪雨災害では世田谷ボランティア協会主催の岡山
支援のボランティアバスのグループリーダーとしても活動。
その他、被災地での活動経験多数。気象予報士

これまでの主な活動

2011年東日本大震災：がれき撤去、家周りの泥出し、
災害ボランティアセンター内の作業サポート、
写真洗浄等

2014年丹波豪雨災害：家周り・側溝・床下の泥出し等

2015年常総豪雨災害：家財搬出、流入草木の除去等

2018年西日本豪雨災害：壁・床はがし、床下の泥出し等

2018～19年北海道胆振東部地震：家財搬出、がれき
撤去、避難所サポート、支援物資の仕分け、
訪問調査等

2019 年台風 19 号 | 世田谷での活動

発災後からの約1ヶ月間、せたがや災害ボランティ
アセンターのコーディネーターとして活動した。

- ・被災者宅の現地調査と打合せ
- ・活動指示書の作成
- ・マッチングセンターの設営、受付、マッチング、
オリエンテーション（活動内容説明）
- ・壁・床はがし等の家屋処理を伴う活動には、活動
グループのリーダーとして現場にも入った。

平時の活動

災害ボランティアコーディネーター養成講座のサポート
や、水害ワーキングチームの一員として、「活動マ
ニュアル＜水害編＞」作成等にも携わっている。

岡山・真備での活動後の様子(靴消毒)



北海道・厚真での活動（家財搬出）



世田谷でのコーディネーターのミー
ティング



災害ボランティアコーディネーター養成講座
（模擬訓練）の様子

